

「この白いの何!？」part2(4・5歳児)

2025.6.30

先週からカビに興味を広げてきている4・5歳児。今日は、学校薬剤師の岡本先生が照度の検査にきてくださったので、薬剤師の仕事について触れました。5歳児の子どもが、先週「カビはばい菌だよ」と言っていた話を岡本先生にすると、いいカビと悪いカビがあることも教えてもらいました。いろいろ話を聞いたり、先生に質問をしたりしていた子ども達です。

Mちゃん どうしてたまご(※)があるの？

(※)カビには、小さなたまご(孢子)があるという岡本先生のお話より

空気の中には目に見えない生物がある。
空気中に飛んでるの。
カビの孢子も空気中に飛んでいて、食べ物にくっつくの。

Yちゃん どうしていろいろなカビがあるの？

カビもこういうタイプとこういうタイプがある。人間もいろいろな人がいるでしょ。カビもいろいろな人がいるの。

梅の実がカビなの？ Tちゃん

黒いカビやら、赤いカビやらいろいろなカビがある。
顕微鏡で見たら分かる。
顕微鏡で見な、正確には分からない。
虫めがねでは分からない。
何百倍違うんですよ。



顕微鏡って何?といったような表情の子ども達です。子どもが顕微鏡のイメージがもてるよう、教師も一緒に顕微鏡が載っている本を探してみました。そして、どこに顕微鏡があるか皆で考えました。「お店?」「病院?」「実験するところ?」「理科室?」5歳児が中心的に考えてくれます。

教師「理科室ってどこにあるの?」

子ども「小学校?」

子ども「行きたい!」

教師「でもあるか分からないよ?」

5歳児「大丈夫!どんぐり染める時、先生に電話したし、ほしくみに任せといて!」

教師「え、ほしくみさんが電話してくれるん?」

4歳児「私もしたい!!」

教師「どうする?」

・・・校長先生に電話して、顕微鏡のことを相談しようとしているような・・・子ども達です。どうなるのか楽しみ半分、ドキドキ半分の教師達です。